

「学校企画実施計画書」

1. 応募するプロジェクト名

「学校企画」

2. 企画テーマ名称

(1) 企画テーマ名称 (主題)

地域の音風景を紹介しよう

(2) 副題

自分たちが住んでいる地域の様々な音をお互いに紹介しよう

3. 企画のねらい

・ 背景

自分たちが住んでいる地域を紹介する場合、今までは写真画像やビデオ映像を使用することにより、視覚に訴えて紹介することがほとんどであった。そこには、音という要素は映像に付属したものという認識があったのではないだろうか。もちろん模造紙上でまとめる場合は、音を表現することはできない。まとめにコンピュータを使用するようになってきた最近でも、文字と画像や映像が中心である。しかし、地域で聞くことができる音（風景の音）には、画像以上に地域の様子を伝えることが出来たり、想像を掻き立て心を和ませたりするものがあるのではないだろうかと考えた。

・ 企画実施の必要性、新規性、汎用性、波及効果

身の回りには、工場の音・農作業の音・商店の音・祭りの音・河川を流れる水の音・車の行き交う音・生き物の音・森林の音・学校の音等いろいろな音がある。このような地域の音は、日頃なにげなく聞いているがその地域独特の音であったり、記録しておかなければ無くなってしまいう音であったりする。今まで地域の音に注目した取組はあまり無かったものである。そこで、地域の音を地図上にまとめて Web ページに公開し、発信して地域の人に聞いてもらい、又他の地域の学校と交換することによりお互いの住んでいる地域の様子を再認識する機会とする。Web ページ上で音を公開するに当たっては、広く普及しているストリーミング方式である RealAudio 形式を用いて長時間の音でもダウンロード時間を要することなく聞くことができるようにしたい。

さらに、視力障害を持つ地域の人や盲学校の児童生徒との交流にも役立てていきたい。

・ 企画の成果目標

地域の音風景を地図上にまとめて Web ページとして公開し学校間交流学習に活用したり、地域の人々に聞いてもらい地域の再発見に活用する。

4.実施担当者等

(1)学校等名

三木市立教育センター（みきしりつきょういくせんたー）

(2)企画実施担当者名

梶本佳照（かじもと よしてる）

5.企画の概要

(1)対象

学年 中学校1年・2年・3年 及び 小学校高学年
教科 総合的な学習の時間・特別活動・部活動

(2)実施内容

「総合的な学習の時間」等において、地域の音を地図上にまとめて Web ページ上に公開する。掲載する音を決めるには地域を歩いて調査すると共に、地域の人にアンケートも取って掲載する音を決めていく。掲載する音の範囲としては、まず校区の音を中心に掲載するが、地域の特徴が出ている音という観点から、市程度の範囲を限度としてその範囲の音も随時掲載していく。

地域の音のページは他の地域の学校にも作成してもらい、掲載した Web ページをもとに学校間交流学習を行う。

また、地域の人に Web ページを見てもらい地域の再認識につなげていったり、意見を参考にして音の内容の更新をはかる。

6.実施体制

(1)実施体制

教育センターを企画立案及び実施の責任母体とし、市内の小中学校に実施の際の協力を依頼する。協力校は、三木市立緑が丘中学校・三木小学校・三樹小学校とする。

さらに、学校間交流学習の相手校も協力校とする。

(2)実施スケジュール

実施準備	6月～7月	地域調査の具体的立案・校区の人へのアンケート調査 市外の交流校の決定
予備実施	8月～9月	収録音の候補を決定し地域の音の収録を開始する。 グループごとに調査する場所を決定する。

グループごとに、MDレコーダーを携帯し地域の音を録音して回ると同時に、その場所の写真も撮影する。

Web ページに掲載する音や場所を決定する。

(交流校も同時に同じ実践を行う。)

本格実施 10月～11月 地域の音風景の Web ページを完成し、学校間交流学习を行う。学習の進展に伴い掲載する音の更新を行う。
 お互いの Web ページを見て感想や疑問、質問等を電子メールで交換する。
 質問を反映させて Web ページに追加する。
 テレビ会議を行い、さらに詳しく交流を行なう。
 音風景 Map を完成させる。

まとめ 12月～1月 企画のまとめ

(3)授業計画等

(テレビ会議での展開案)

本時の学習

- 1 目標 お互いが住んでいる地域の音風景 (Map) の Web ページを見ての疑問や質問点をテレビ会議を通して解決していくことにより、自分達や相手の地域の様子をより詳しく理解することができる。

2 展 開

学習活動	予想される児童生徒の活動	指導上の支援・留意点
1 本時の目標の確認	<ul style="list-style-type: none"> 質問する内容を各自で確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> お互いの Web ページを見ての疑問や質問について交流していくことを確認する。
2 質問及び回答をする。	<ul style="list-style-type: none"> グループ及び個人で考えていた疑問や質問を行なう。 相手校の質問に答える。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前の電子メール等のやり取りでも解決できていなかった内容を中心に行なう。 回線の状況により、実際に音を流すことも計画しておく。 相手に対して質問する場合や説明をする場合に、はっきりと分かりやすく対応できるようにさせる。

3 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> テレビ会議で質問に答えたり，回答を聞いたりして新たにわかったことをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 音風景の Web ページ完成に向けて追加及び修正する為の資料にさせる。
4 次時の予定を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 音風景 Web ページ完成を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域を知ってもらう為の紹介 Map 完成に向けて意欲づける。

(4)実施環境

教育センター及び市内の小中養護学校は，専用回線で結ばれインターネットへは教育センター経由でつながっている。小中養護学校は，コンピュータ室が整備され小学校は，3人に1台，中学校は，2人に1台の台数が置かれてる。全台インターネットに接続可能である。

Web サーバー及びメールサーバを使用することができ，児童生徒用のアカウントも自由に設定可能である。

さらに，専用線の速度を128Kすると共に，4月より Web サーバー専用のサーバーを増設し，容量とレスポンスの改善を図った。

テレビ会議に関しての環境は，センターにフリーソフトウェアの Reflecter サーバーを設置して市内の学校と市外の学校と交流に使用できるようになっている。

使用するソフトは，CU-SeeMe Pro 4.01 を想定している。

秋に，プロキシサーバーに対応した，5.0 が発売される予定なのでこれも予定している。